

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援 めばえびオラ	公表日	2026年 3月 15日
------	---------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	室内運動場を活用しながら、一つの部屋に密集しないようにしている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	特性の程度によって、職員配置を決めている。十分な人員で対応している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2		トイレ、手伝い等バリアフリーではない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	送迎業務をしない職員が毎日清掃、消毒してくれている。	怪我をしないように想定しながら環境づくりをする。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	子どもによって、臨機応変に対応している。人員が豊富なので強みになっている。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	0	ミーティングは時間をかけて丁寧に言い、情報共有は常に心がけている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	細かな意見や情報も職員間で共有している。	常に保護者からの意見が言いやすいように、信頼関係の構築に努める。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	ミーティング以外でも個別に意見を聞くこともあり少数意見も大事にしている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	6		外部評価しているのかわからない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	施設内研修を定期的に行い、スキルアップを目指している。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	保護者の方の意見を取り入れた支援プログラムを心がけている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0	最新のアセスメントを作成し、事業所全体で子供たち一人一人の正しい理解に努めている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	ミーティングで出し合った意見を元に、計画作成を行っている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	担当者会議の度にミーティングを行い、職員間で共有しながら支援計画を立てている。	非常勤スタッフ含め情報共有を今まで以上に細やかに行う。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	2	標準化されたツールを利用してアセスメントを行っています。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	2	ガイドラインに沿った支援計画書の作成を意識しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	職員間で相談しながら決定している。	非常勤スタッフ含め情報共有を今まで以上に細やかに行う。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	定着の為にあえて固定化したり、臨機応変にプログラムを立てるようにしている。	

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	アセスメントから子供たちの課題、保護者のニーズを分析し作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	前回の様子等も含めて、話し合い適切な支援ができるように努めている。	欠勤している職員にも伝達できるように留意する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	送迎後、振り返り、反省、を必ず行い、朝ミーティングでももう一度振り返りを行っている。その際、記録もとっている。	欠勤の職員にも伝達事項を伝えられるような手段を、記録以外でも検討したい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	連絡帳以外にも記録を取っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	必ず現場職員が会議に参加し、専門的な見解をお伝えしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	様々な機関と連携して、幅広い視点から子供たちの理解を深めている。	一般の学校は連携がとりやすい学校と、難しい学校がある。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	要望があった場合、随時対応している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	7	今の所、交流や活動を一緒にする事は実施していない。	今後、安全に配慮した上で検討していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	1	連絡帳を通じて、活動内容や子供の様子を伝えている。	担当職員以外が送迎担当になった場合、細やかな伝達が出来ない場合がある。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	5	おはなし会を使って個別に面談する機会を設けている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に説明している。	保護者の方が不安な事や分からない事が見つかったらその都度対応していく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1	必要に応じて個別に行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	同意のサインを頂いている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	4	おはなし会を使って個別に面談する機会を設けている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0	ホームページをリニューアルし、情報の発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	個人情報の取扱いには十分気を付けている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	1	それぞれの発達に合わせた関わりをしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6		今の所、そのような活動の予定はないが、前向きに検討中である。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	避難訓練等様々な災害を想定しながら行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	1	今現在、服薬の対応児童はいない。 要望があれば随時対応する。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		ホームページなどでの発信ができればと考えている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	事案が発生したら、職員全体で再発防止策を考え、書面にて残している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	社内研修を行い、個々にチェックシートにも取り組んでいる。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0			